

**経営理念**：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

**保育の方針** 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします  
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

**保育目標** ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## かもしか5歳児

令和5年6月20日（火）

文責 長沼由美

梅雨で雨が続く日々ですね。晴れ間の日には散歩に出ると紫陽花やかたつむりなど今の時期に見られるものを見つけて楽しむ子どもたち。「今、その瞬間」を大切に、発見する楽しさや共有する喜びを私も子どもたちと一緒に見つけていきたいと思えます。

### 「じゃがいもの収穫！」 ～自分たちで育てて～

先週、子どもたちと園の畑で育てていたじゃがいもの収穫を行いました。このじゃがいもは、買ってきた種芋をかもしか3・4・5歳児で植えたものです。植える前に本でじゃがいもをどのように植えるのか、どう育てていくのかを見てから畑に植えました。植えた数日後にじゃがいもが大きくなっているか何度も観察に行くと、雨で種芋が見えていたりすると「先生、じゃがいもが見える！土を被せてあげないと！」と心配し土をかける姿が見られたり、「芽がでてきた！」「花が咲いたよ。でも、花の色が違うのがあるね」「お芋が違うのかな？」などその都度、じゃがいもの変化を見て気づいていく子どもたち。草取りも行い「美味しいじゃがいもにな～れ」と思いを込めました。収穫時、茎を引っ張り出てきたじゃがいもは・・・大きいものがあまりありませんでした。しかし、小さい実がついているだけでも子どもたちは「やった！あったよ」と喜び見せてくれました。量的には少ししかありませんでしたがその日のおやつで獲ったじゃがいもを味付けは塩のみで食べました。「美味しい！」と笑顔を見せる様子に、もちろん量が沢山取れることに喜びも感じられるのですが「自分たちで育てたものが成長し収穫できた！」という過程があるからこそその喜びで満足できるのではと見ていて感じました。今、園庭側の畑では夏野菜のピーマンやトマト、胡瓜、茄子が小さい実をつけだしており、子どもたちはそちらの成長も楽しみにしています。今年は年長児として苗の買い出しから行っているのもより楽しみにしているようです。育てる楽しさ、大変さ、育っていく過程の変化などさまざまなものを、みんなで共有して収穫を待ちたいと思えます。ご家庭でも「野菜は今、どうなっているのか？」など子どもたちが何を育てて、どう感じたりしているかを会話の話題にさせていただき一緒に収穫を楽しみにしていただけると嬉しく思います。



★お願い・・・☆暑さも増して子どもたちが登園時に「股付きサンダル」で登園する姿が見られます。日中の係活動や遊びの中で靴を履くことがありますので、必ず置き靴を持たせてください。また、その際に、週末の靴の持ち帰り用の袋も一緒に名前を記入して持たせてください。宜しくお願いいたします。

☆お泊り保育のプリントを配布いたしました。何かご不明の点や心配なことなどがありましたらご連絡ください。

### (子ども達の様子)



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞徳 (099-482-2927) 横峰 友里子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-5473-5866)